

S シリーズ ネットワークビデオレコーダー

簡易操作マニュアル

- お問い合わせ時にスムーズな対応をさせていただくため、下記情報の記入をお願いします。

購入代理店：

モデル（型番）：

シリアルナンバー：

設置日：

- 本書をお読みにになった後は、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

目次

はじめに	4
1. ローカル基本操作	5
1-1. マウス	5
1-2. ソフトウェアキーボード	5
2. ログイン	6
2-1. パスワードの入力	6
2-2. ロック解除パターンの入力	7
3. ライブビュー	8
3-1. 状態アイコン	8
3-2. ツールバー (全体)	9
3-3. ツールバー (各チャンネル)	11
デジタルズーム	12
光学ズーム (レンズの倍率調整) /PTZ 操作	13
全方位モード	14
3-4. クイック操作メニュー	14
3-5. イベント通知	15
通知イベントの設定	15
4. 画面表示の設定	16
4-1. 設定できる項目	16
4-2. チャンネル番号を表示する	17
4-3. ページ移動ボタンを表示する	17
5. 再生	18
5-1. 再生の準備	18
5-2. 録画再生 (通常の再生)	20
5-3. 再生時の操作	21
クイックメニュー	21
タイムライン	22
主なツールバー	23
表示するイベントの絞り込み (フィルター)	24
映像の切り抜き (クリップ)	26
ファイル管理	28

5-4. イベント再生	30
5-5. 分割再生	32
6. 録画データの取り出し（バックアップ）	33
6-1. 通常バックアップ	33
6-2. イベントバックアップ	36
7. 日時の修正	40
8. 認証 / セキュリティ設定	42
9. パスワード/ロック解除パターンの変更	44
9-1. パスワードの変更	44
9-2. ロック解除パターンの変更	46
10. ログアウト / 再起動 / シャットダウン	49
11. チャンネル表示位置の変更	50
12. ログの検索	54
13. ステータスの確認	56
14. カメラのメンテナンス	57
14-1. カメラの情報の確認	57
14-2. カメラのファームウェア更新	58
更新の準備	58
ファームウェアの更新	59
14-3. カメラの再起動	61
14-4. カメラのリセット	62
15. NVR のメンテナンス	64
15-1. NVR のファームウェア更新	64
更新の準備	64
ファームウェアの更新	65
15-2. NVR のリセット	67
サポートのご案内	68
お問い合わせの前に	68
お問い合わせ方法	68



はじめに

■本書について

- 本書では、SシリーズのNVR（ネットワークビデオレコーダー）の基本操作を説明します。主に下記の操作について説明します。
 - ライブ映像の確認
 - 録画した映像の再生
 - バックアップ
- 本書では、代表的な画面構成および操作手順を記載しています。画面表示、機能名、手順は、下記などによって実際と異なる場合があります。
 - NVRの型番 / ファームウェアのバージョン
 - カメラの型番 / ファームウェアのバージョン
 - システム構成
- 本書の内容について、その完全性、正確性、特定目的への適合性を保証するものではありません。

■ホームページ / FAQ

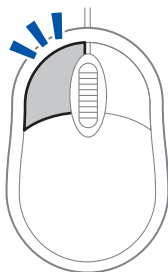
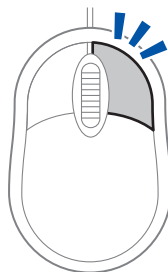
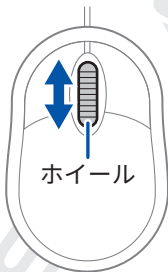
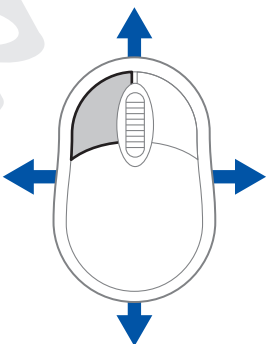
本書に記載していない操作や設定などについては、下記をご覧ください。

NSK ホームページ	FAQ（よくあるご質問）
<p>最新のマニュアルやファームウェア、仕様書などをダウンロードできます。</p> <p>https://n-sk.jp/</p> 	<p>「よくあるご質問」への回答などを閲覧できます。</p> <p>https://faq.n-sk.jp/</p> 

1. ローカル基本操作

NVR の操作には、「マウス」と「ソフトウェアキーボード」を使います。

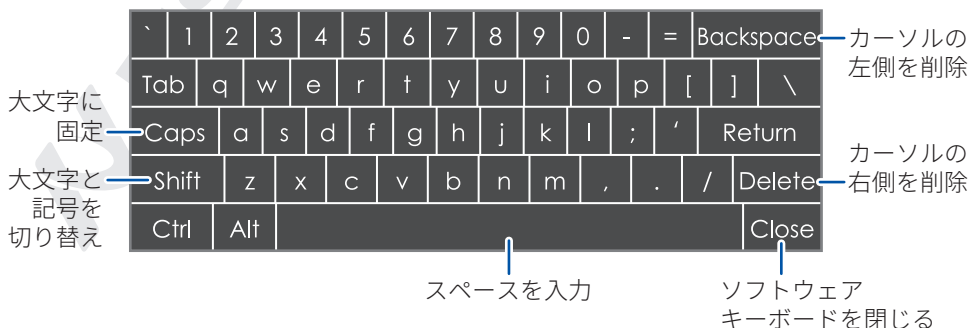
1-1. マウス

左クリック (クリック)	右クリック	ホイールを回す	ドラッグ
左ボタンを押す。	右ボタンを押す。	ホイールを上または下に動かす。	左ボタンを押したままマウスを動かす。
			
主な用途 • 項目の選択 • 文字の入力	主な用途 • クイック操作メニューの表示 • デジタルズームの終了 • 画面や操作のキャンセル	主な用途 • 映像の拡大 / 縮小 • タイムラインの拡大 / 縮小	主な用途 • ロック解除パターンの入力 • (デジタルズーム中の) 画面の移動 • タイムラインの移動

1-2. ソフトウェアキーボード

文字の入力に使います。

ポインター (マウス) を入力欄に合わせ、クリックすると表示されます。
各キーをクリックすると、文字が入力されます。



2. ログイン

NVR にログインするには、下記のいずれかを入力します。

- パスワード
- ロック解除パターン

2-1. パスワードの入力

設定したパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

The diagram illustrates the login process in two stages. In the first stage (left), the 'ユーザー名' (username) is set to 'admin' and the 'パスワード' (password) field is empty. Below the fields are two links: 'ロック解除パターンでログインしますか?' (Do you want to log in with the unlock pattern?) and 'パスワードを忘れました?' (Forgot password?). A 'ログイン' (Login) button is present. In the second stage (right), the 'パスワード' field is filled with dots, and the 'ログイン' button is highlighted with a blue box. The same links and 'ユーザー名' field are present. A blue arrow points from the first stage to the second stage.

■ パスワードを忘れたときは

[パスワードを忘れました?] をクリックしてください。

[秘密の質問] への回答を入力すると、パスワードをリセットできます。

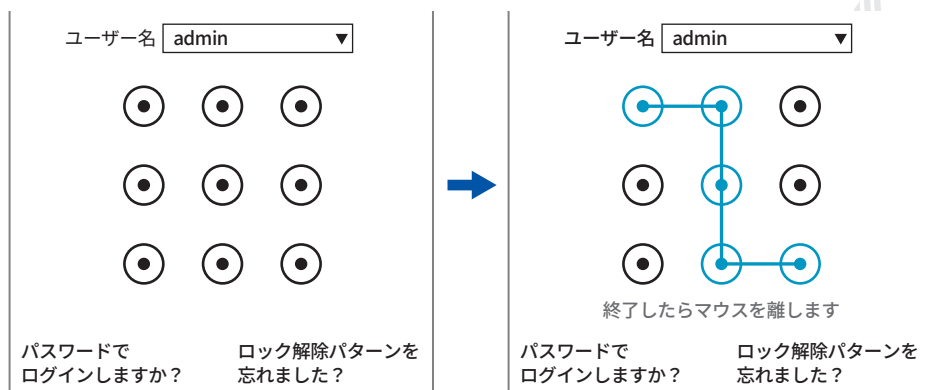
! 注意

下記の場合はパスワードをリセットできません。コールセンターにご連絡ください。

- [秘密の質問] を設定していない
- [秘密の質問] への回答を忘れた

2-2. ロック解除パターンの入力

設定したロック解除パターンを、マウスをドラッグして入力します。



■ ロック解除パターンを忘れたときは

[ロック解除パターンを忘れました?] をクリックしてください。

[秘密の質問] への回答を入力すると、ロック解除パターンをリセットできます。

! 注意

下記の場合はロック解除パターンをリセットできません。コールセンターにご連絡ください。

- [秘密の質問] を設定していない
- [秘密の質問] への回答を忘れた






3. ライブビュー

NVR にログインすると、ライブビュー画面が表示されます。



3-1. 状態アイコン

ライブビュー画面に表示される「状態アイコン」で、各チャンネルの状態を把握できます。











	録画中
	動体検知のアラーム (AI Advance Detection 含む)
	VCA イベント検知のアラーム (エリア侵入検知、境界横断検知、徘徊検知など)
	異常アラーム → p.15 「3-5. イベント通知」
	• カメラの接続エラー • カメラ映像の信号喪失





3-2. ツールバー（全体）

画面下部のツールバーで、さまざまな操作ができます。



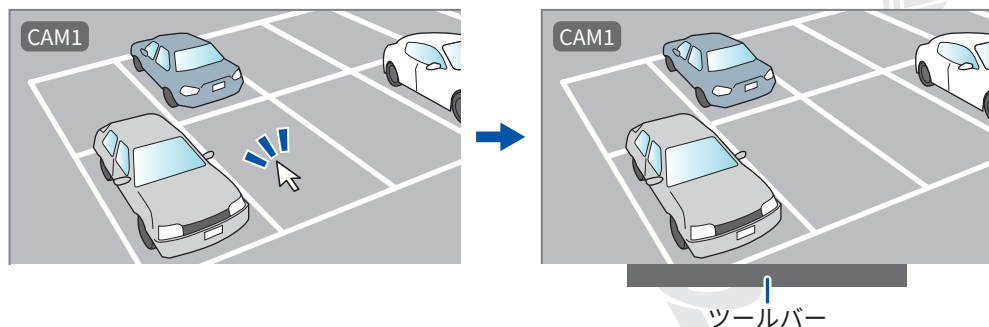
ツールバー

 	ツールバーの固定と解除を切り替えます。
  	画面の分割数を変更できます。 選択できる項目は、NVRのモデルによって異なります。
	ターゲットモード（各AI検知のプレビュー画面）に切り替わります。
	滞留/人数情報モード（滞留/人数カウントのプレビュー画面）に切り替わります。
	異常なイベントが発生したときに表示されます。 → p.15 「3-5. イベント通知」
	すべてのチャンネルで録画を開始します。
	すべてのチャンネルで録画を停止します。

	<p>画面表示設定 画面表示の設定ができます。 → p.16 「4. 画面表示の設定」</p>
	<p>サイレント機能 [OFF] に設定すると、表示中のチャンネルで発生したイベントの、通知・連動アクションを一時的に無効にできます。 [OFF] に設定しても、通知・連動アクションの設定内容は変更されません。</p> <p>一時的に無効にできる通知・連動アクション</p> <ul style="list-style-type: none"> • 音声通知：NVR から警告音を出力 • Eメール通知 • ポップアップ通知：ライブビュー画面に通知 • PTZ動作：プリセット位置への移動など • アラーム出力：外部接続機器にアラームを出力 • ホワイトLED：威嚇用のライトを発光 • HTTP通知：外部サーバーやシステムへ HTTP リクエストを送信
	<p>シーケンス 指定した秒数が経過すると、次のチャンネル映像に自動で切り替わるように設定できます。</p>
<p>14:45:50 2025-12-20</p>	<p>時間情報  [画面表示設定] の [時間情報] で、表示方法を設定できます。</p>

3-3. ツールバー（各チャンネル）

ライブビュー画面でクリックすると、ツールバーが表示されます。
クリックしたチャンネルを対象に、さまざまな操作ができます。



- 手で録画を開始します（緊急録画）。
- 録画中です。クリックすると録画を停止します。
- 静止画を撮影します。
- 直前に録画した映像を再生します。
- メインストリーム（高画質）とサブストリーム（低画質）を切り替えます。
- 拡大表示します。
→ p.12 「デジタルズーム」
- 縦横比を、ウィンドウに合わせるか元の比率にするかを切り替えます。
- 警告灯の ON/OFF を切り替えます。
-

- カメラ側の音声再生の ON/OFF を切り替えます。
-
- 双方向オーディオの ON/OFF を切り替えます。
-
- （対応カメラのみ）
デワープ機能を使用できます。
→ p.14 「全方位モード」
- 明るさやコントラストなどを変更できます。
- 光学ズーム、PTZの操作ができます。
→ p.13 「光学ズーム（レンズの倍率調整）/PTZ 操作」
- カメラ側のアラーム出力の ON/OFF を切り替えます。
- ツールバーを閉じます。

メモ カメラ側の音声を聞くには

（音声 OFF）をクリックして、（音声 ON）に切り替えてください。

また、カメラのマイク機能が有効に設定されている必要があります。

設定方法については、下記の FAQ をご覧ください。

<https://faq.n-sk.jp/answer/6a0536f30a615307dde41acb/>




デジタルズーム

映像を拡大表示できます。

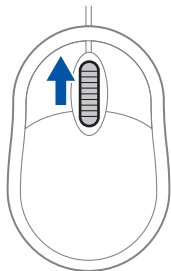
1 ツールバー（各チャンネル）の  をクリック

単画面に切り替わります。

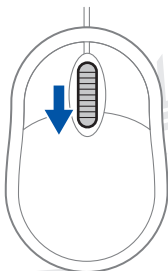
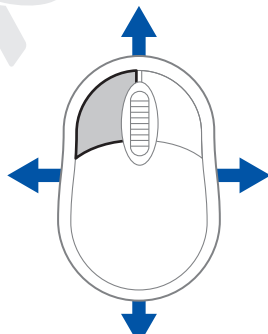
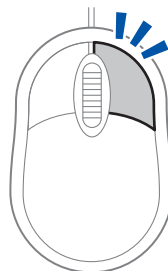
2 カーソル () を、拡大したい位置に置く

3 マウスのホイールを上を回す


カーソル部分を中心に拡大されます。倍率が画面に表示されます。



拡大表示中は、下記の操作ができます。

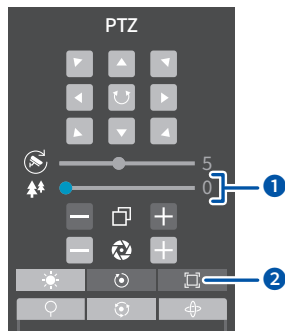
縮小	移動	デジタルズームを終了
ホイールを下に回す。	ドラッグする（左クリックしたままマウスを動かす）。	右クリックする。
		

光学ズーム（レンズの倍率調整）/PTZ 操作

ツールバー（各チャンネル）の  をクリックすると、PTZ コントロールパネルが表示されます。

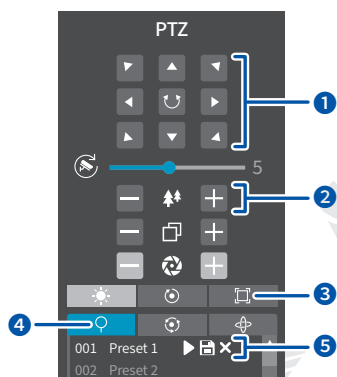
PTZ コントロールパネルで使用できる主な機能は、下記のとおりです。




■ 電動バリフォーカルカメラの場合







- 1 光学ズーム（レンズの倍率調整）
- 2 ピントの自動調整




■ PTZ カメラの場合



- 1 画角の調整（パン・チルト）
- 2 光学ズーム（レンズの倍率調整）
- 3 ピントの自動調整
- 4 プリセット（ホーム位置）
- 5  プリセットの実行
 プリセットの登録
 プリセットの削除


PTZ カメラの場合、画面左下のツールバーで下記の操作ができます（アイコンが白色：機能 OFF、アイコンが青色：機能 ON）。

	ライブビュー画面でクリックした位置を中心にズームする。
	追尾対象を一時的に手動指定する。
	PTZ コントロールパネルの表示 / 非表示を切り替える。
	事前登録したパトロール機能を、ワンクリックで開始する。



	カメラの内部ファンを使って湿気を除去する。
	レンズ位置を、事前登録した位置に戻す。
	明るさを自動で調節する。

全方位モード

360°全方位カメラの場合のみ使用できます。

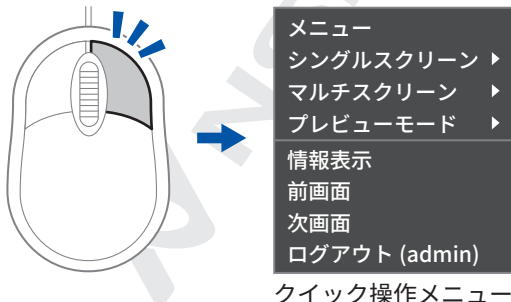
ツールバー（各チャンネル）の  をクリックすると、デワープ機能を使用できます。球状の映像が補正されて、見やすくなります。

デワープ機能について詳しくは、下記の FAQ をご覧ください。

機能説明	操作方法
https://faq.n-sk.jp/answer/67f3759fae7c7f024ddb245b/ 	https://faq.n-sk.jp/answer/6805e629adf756c2a4b36500/ 

3-4. クイック操作メニュー

ライブビュー画面で右クリックすると、クイック操作メニューが表示されます。




選択できる項目は、NVR のモデルによって異なります。

メニュー	画面右側にメニューが表示されます。
シングルスクリーン	選んだチャンネルが単画面で表示されます。
マルチスクリーン	画面の分割数を変更できます。
プレビューモード	[通常モード]、[ターゲットモード]、[滞留人数情報モード] を切り替われます。
情報表示	ライブビュー画面での、各種情報の表示 / 非表示を切り替われます。表示 / 非表示にする情報を個別に設定するには、[画面表示設定] を使用してください。→ p.16 「4. 画面表示の設定」
前画面	(前の画面がある場合に) 前の画面を表示します。
次画面	(次の画面がある場合に) 次の画面を表示します。
ログアウト	ログアウト / 再起動 / シャットダウンができます。 → p.49 「10. ログアウト / 再起動 / シャットダウン」

3-5. イベント通知

異常なイベントが発生すると、ツールバーに  がポップアップ表示されます。



 をクリックすると、詳細画面が表示されます。発生したイベントを確認できます。

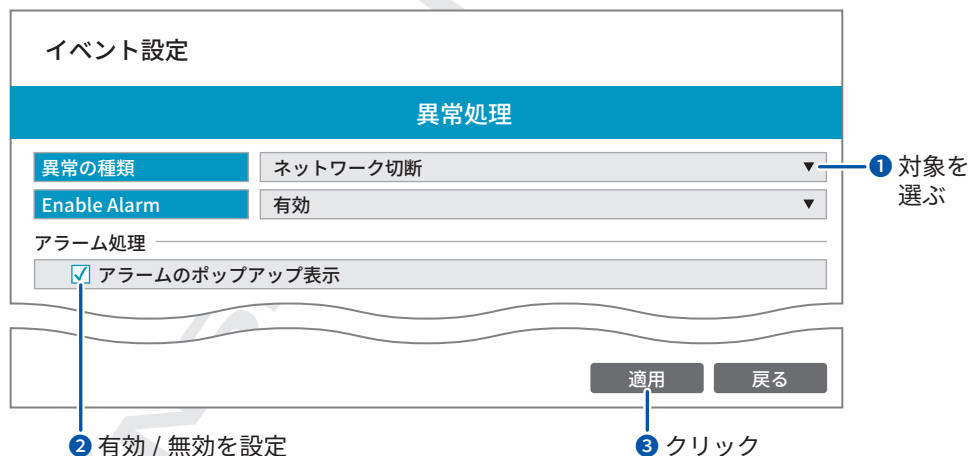
Event/Exception	Information
Record Failed	CH1 Secondary Stream
Record Failed	CH1 Primary Stream

[Settings](#)

通知イベントの設定

イベントの詳細画面で [Settings] をクリックすると、下記の異常についてポップアップ表示の有効 / 無効を設定できます。

- ネットワーク切断
- IP アドレスの競合
- HDD 容量不足
- 録画に失敗しました
- HDD 異常
- HDD 未フォーマット
- ディスク無し
- ディスクがオフライン



イベント設定

異常処理

異常の種類 ネットワーク切断

Enable Alarm 有効

アラーム処理

アラームのポップアップ表示

適用 戻る

① 対象を選ぶ

② 有効 / 無効を設定

③ クリック

メモ

通知イベントの設定画面は、下記の操作でも表示できます。

- 1 ライブビュー画面で、右クリック - [メニュー] をクリック
- 2 画面右の [イベント] をクリック後、画面左の [異常処理] をクリック

4. 画面表示の設定

画面下部のツールバー  をクリックすると、画面表示の設定ができます。



4-1. 設定できる項目

設定は、すべてのチャンネルに適用されます。

再生モード	<ul style="list-style-type: none">・[画質重視]：画質を優先して表示します。・[フレーム重視]：動きの滑らかさを優先して表示します。
色	チャンネル名や境界線などの色
ストリーム情報	ビットレート、フレームレート、フレームサイズの表示
チャンネル名	チャンネル番号の表示 → p.17 「4-2. チャンネル番号を表示する」
チャンネル名文字サイズ	チャンネル番号の文字サイズ
境界線	チャンネル間の境界線の表示
ページ情報	ページ移動ボタン、ページ番号の表示 → p.17 「4-3. ページ移動ボタンを表示する」
時間情報	画面右下に表示される、時間情報の表示方法 <ul style="list-style-type: none">・[自動]：ツールバーの表示 / 非表示に連動します。・[常に]：常に表示します。
イベント検出エリア	設定したイベント検知ルールを、ライブビュー画面に表示できます。イベントは、下記から選択できます。 <ul style="list-style-type: none">・[エリア侵入検知]・[エリア離脱検知]・[高度な動体検知]・[徘徊検知]・[境界横断検知]・[置き去り / 持ち去り検知]・[人数カウント]・[エリア人数カウント]

4-2. チャンネル番号を表示する

各カメラのチャンネル番号を、ライブビュー画面に表示できます。
工場出荷時の設定は、[OFF]（表示しない）です。



1 ライブビュー画面で、ツールバーの  をクリック

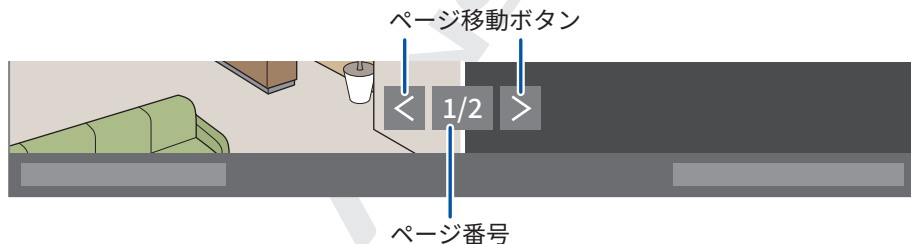
2 [チャンネル名] を [ON] にする

チャンネル番号が表示されます。

4-3. ページ移動ボタンを表示する

前ページまたは次ページに移動するための「ページ移動ボタン」、およびページ番号を表示
できます。

工場出荷時の設定は、[OFF]（表示しない）です。



1 ライブビュー画面で、ツールバーの  をクリック

2 [ページ情報] を [ON] にする

ページ移動ボタン、ページ番号が表示されます。

5. 再生

5-1. 再生の準備

- 1 ライブビュー画面で右クリック後、[メニュー] をクリック



- 2 [録画再生] をクリック



再生画面が表示されます。



3 再生の種類と、画質を選ぶ



■再生の種類

録画再生	通常の再生方法です。 → p.20 「5-2. 録画再生 (通常の再生)」
イベント再生	イベント (動体検知や VCA 検知など) が発生した録画のみを再生します。 → p.30 「5-4. イベント再生」
タグ再生	タグをつけた録画のみを再生します。
分割再生	1つの録画を複数に分割し、同時再生します。 異なる時刻の映像を同時に確認できます。 → p.32 「5-5. 分割再生」
静止画再生	静止画のみを再生します (ライブビューで撮った静止画や、再生時に撮った静止画など)。

■画質

メインストリーム	高画質
サブストリーム	低画質

5-2. 録画再生（通常の再生）

1 再生の準備をする

→ p.18 「5-1. 再生の準備」

2 再生の種類を「録画再生」に設定する



3 再生するチャンネルにチェックをつける

CH	名前
<input checked="" type="checkbox"/> 1	CAM1
<input type="checkbox"/> 2	CAM2
<input type="checkbox"/> 3	CAM3

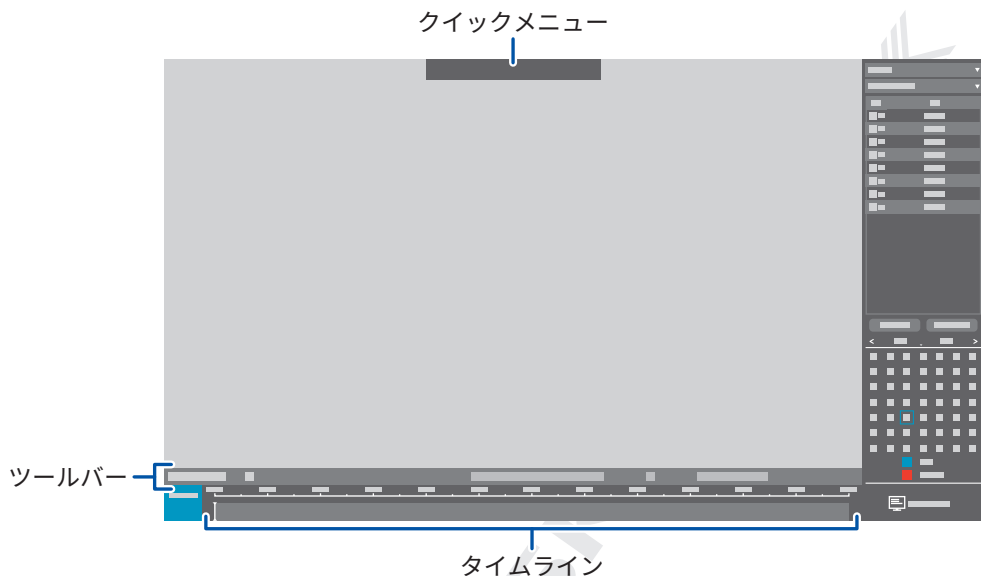
4 再生する日付をクリック

- 青色の日付：録画データあり
- 赤色の日付：録画データあり（録画スケジュール機能でイベント録画を設定し、録画データにイベントがある場合）











- 録画データがある日付をクリックすると、再生が始まります。
- 録画データが無い日付をクリックすると、「現時点ではこのチャンネルにプライマリ録画ファイルはありません。」と表示されます。

5-3. 再生時の操作



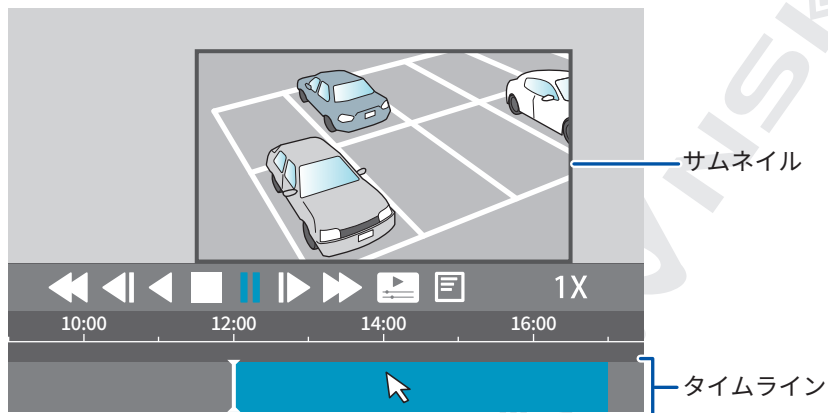
クイックメニュー

	指定した領域の動体検知イベントを検索 / 再生できます。		映像が上書きされないように、ロック（保護）します。
	拡大表示します。		タグ（目印）を追加します。 タグを追加しておくと、後で見返しやすくなります。
	静止画を保存します （再生スナップショット）。		タグを任意の名前で追加します。
	音声のON/OFFを切り替えます。		クイックメニューを閉じます。 再表示するには、映像をクリックします。

タイムライン

1 ポインター (マウス) をタイムラインに合わせる

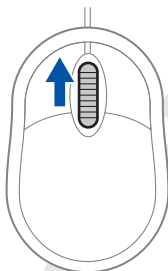
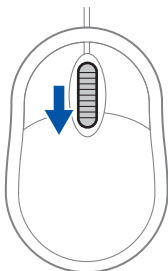
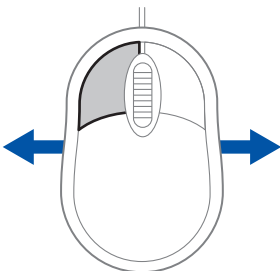
その時点の録画映像がサムネイルとして表示されます。

















2 再生したい時刻のタイムライン上でクリック

クリックした時刻の位置から、再生が始まります。

■ タイムラインの操作

拡大	縮小	移動
タイムライン上でホイールを上に戻す。	タイムライン上でホイールを下に戻す。	タイムライン上で左または右にドラッグする (左クリックしたままマウスを動かす)。
		
目盛りを1分刻みまで拡大できます。	目盛りを1時間刻みまで縮小できます。	タイムラインの拡大時のみ有効です。

主なツールバー

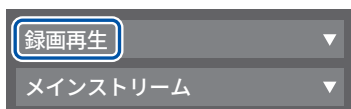
	フィルター → p.24 「表示するイベントの絞り込み (フィルター)」		ON にすると、一般的な映像 (イベント無し) をスキップしたり、イベントの有無によって再生速度を切り替えたりできます。
	停止		再生速度
	一時停止		切り抜き → p.26 「映像の切り抜き (クリップ)」
	再生		ファイル管理 → p.28 「ファイル管理」
	逆再生		サブ画面のデコードリソースを、再生処理に割り当てることで、同時再生能力の不足を補います。32ch以上のNVRで、HDMI2/VGA2が有効の場合に使用できます。
	コマ送り		
	コマ戻し		
	再生速度を速くします。		
	再生速度を遅くします。		

表示するイベントの絞り込み（フィルター）

選択したイベントの映像を、タイムラインに別色で表示することで、目的の映像を探しやすくします。

通常の再生（[録画再生]）で、チャンネルを1つだけ選んだ場合に使用できます。

1 再生の種類を「録画再生」に設定する



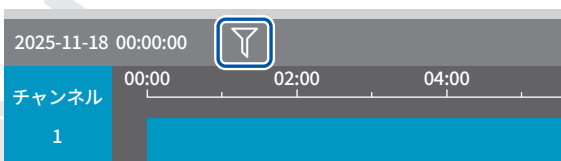
2 再生するチャンネル（1つのみ）にチェックをつける

CH	名前
<input checked="" type="checkbox"/> 1	CAM1
<input type="checkbox"/> 2	CAM2
<input type="checkbox"/> 3	CAM3

3 再生する日付をクリック



4 ツールバーの をクリック



5 表示したいイベントを選ぶ

[動体検知]、[音声アラーム]、[アラーム入力]、[VCA]、[スマート分析] から選べます。



■ VCA ▼

検索を上書き イベントのみ検索

6 チェックをつける

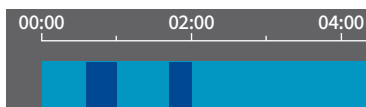


VCA ▼

検索を上書き イベントのみ検索

7 [検索を上書き] または [イベントのみ検索] を選ぶ

- [検索を上書き]：選んだイベントが、タイムラインに別色で表示されます。



- [イベントのみ検索]：選んだイベントだけが、タイムライン上に表示されます。



映像の切り抜き（クリップ）

映像の必要な部分を抜き出して、別ファイルとして保存できます。

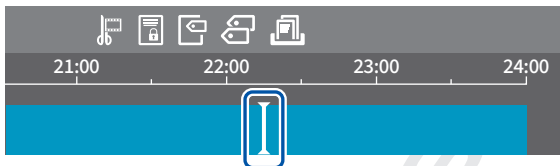
！注意

切り抜く範囲は、なるべく短くしてください（1時間以内にすることを推奨します）。切り抜く範囲が長いと、NVRやHDDに負荷がかかるため、下記の原因になります。

- 切り抜きが完了しない
- NVRの動作が止まる
- HDDが故障する
- HDDの寿命が縮む

1 映像を再生する

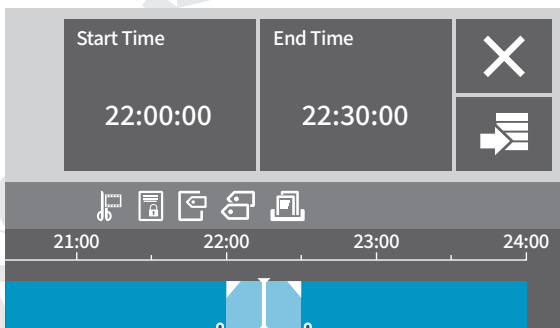
2 対象の時刻付近を、タイムラインで選択する



3 をクリック



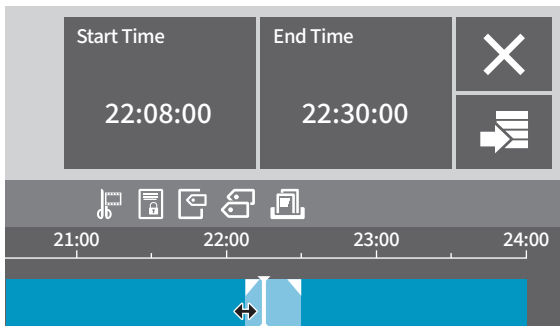
選択した時刻を中心にして、切り抜き範囲（開始時刻と終了時刻）が設定されます。切り抜き範囲が、タイムラインに表示されます。



切り抜き範囲

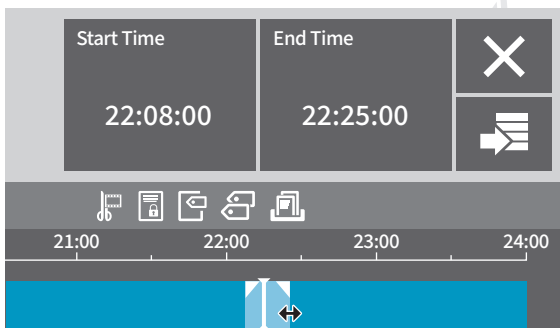
4 開始時刻を調整する

切り抜き範囲の左端をドラッグします。



5 終了時刻を調整する

切り抜き範囲の右端をドラッグします。



6 をクリック

切り抜いた映像が、別ファイルとして保存されます。

メモ 録画データを外部機器（USB メモリ）に保存するには

2つの方法があります。目的に応じて使い分けてください。

■ クリップ機能と [ファイル管理] を組み合わせる

必要な場面だけを短く抜き出す場合に適しています。

クリップ機能で抜き出した映像を、[ファイル管理] で外部機器に保存します。

→ p.28 「[ファイル管理](#)」

■ [バックアップ] を使う

比較的まとまった時間帯の映像を保存する場合に適しています。

必要な映像のチャンネルと日時を、録画再生画面で確認しておきます。

その後、[バックアップ] で条件を指定し、外部機器に保存します。

→ p.33 「[6. 録画データの取り出し（バックアップ）](#)」

ファイル管理

下記の操作の結果を、一覧できます。

- 映像の切り抜き（クリップ）
- 再生スナップショット
- ロック（保護）
- タグ付け

クリップ、再生スナップショット、ロックしたデータを、外部機器（USB メモリなど）に保存できます。

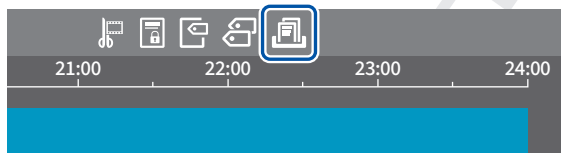
例) クリップした映像を、USB メモリに保存する

1 映像を切り抜く

→ p.26 「映像の切り抜き（クリップ）」

2 USB メモリを、NVR の USB ポートに差し込む

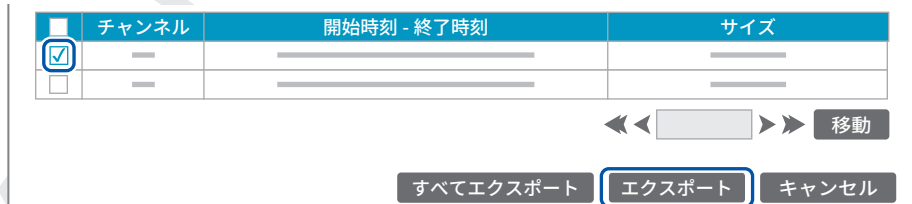
3 ツールバーの をクリック



4 [ビデオクリップ] をクリック



5 保存するファイルにチェックをつけて、[エクスポート] をクリック



6 保存先のフォルダを選ぶ

7 ビデオファイル形式を選ぶ

- MP4：多くの動画再生ソフトで再生できます。
- AVI：多くの動画再生ソフトで再生できます。
- PS：「Player」（S シリーズ専用の動画再生ソフト）のみで再生できます。

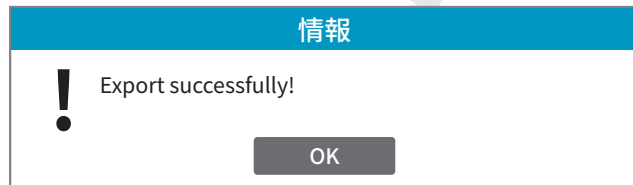


8 [エクスポート] をクリック




[ダウンロード進行状況インターフェースで...]と表示されたら、[OK]をクリックします。

9 [Export successfully!] と表示されたら、[OK] をクリック



クリップした映像が、USB メモリに保存されました。

メモ エクスポートの進行状況を確認するには

- 1 [再生ファイル管理] 画面で、[キャンセル] をクリック
- 2 画面右下の [ライブ表示] をクリック
- 3 右クリック - [メニュー] - [状態] をクリック
- 4 画面上部の  をクリック

5-4. イベント再生

イベント（動体検知や各種 VCA 検知など）が発生した録画を抽出して再生します。
設定できるイベントは、下記のとおりです。

メインカテゴリー	サブカテゴリー
動体検知	—
音声アラーム	—
アラーム入力	—
VCA	[すべて] ^{*1} 、[エリア侵入検知] ^{*1} 、[エリア離脱検知] ^{*1} 、 [高度な動体検知] ^{*1} 、[妨害検知]、[境界横断検知] ^{*1} 、 [徘徊検知] ^{*1} 、[人物検知]、[置き去り / 持ち去り検知]
スマート分析	[すべて]、[ANPR]、[顔検出]、[POS] ^{*2} 、[人数カウント]、 [エリア人数カウント]

*1: [検出オブジェクト] で、[すべて] / [人間] / [車両] を選べます。

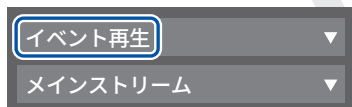
*2: [POS Content] を指定します。

例) [VCA] で [人間] を検出した録画を抽出する

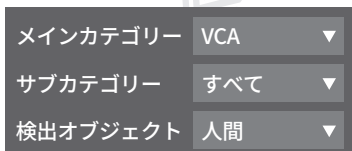
1 再生の準備をする

→ p.18 「5-1. 再生の準備」

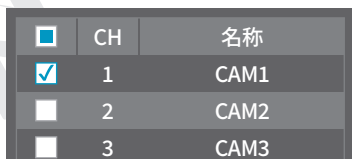
2 再生の種類を [イベント再生] にする



3 イベントを下記のように設定する



4 再生するチャンネルにチェックをつける



5 [開始日時] と [終了日時] を設定し、[検索] をクリック



開始日時
2025-11-18
00:00:00
終了日時
2025-11-18
23:59:59
検索

検索条件に一致した録画が表示されます。

6 検索結果の▶をクリック



検索結果:

CH	イベント継続時間	再生
1	2025-11-18 07:57:43-07:57:47	▶
1	2025-11-18 08:00:47-08:00:51	▶
1	2025-11-18 08:02:22-08:02:26	▶

合計: 3 ページ: 1/1
プリ再生 30s
ポスト再生 30s

再生が始まります。

検索画面に戻るには、◀をクリックします。

メモ [プリ再生] と [ポスト再生]

「イベント発生前後の映像を再生する秒数」を設定できます。

- [プリ再生] : イベント発生前の映像を再生する秒数
- [ポスト再生] : イベント発生後の映像を再生する秒数

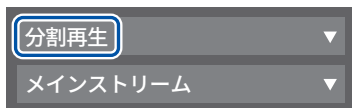
5-5. 分割再生

1つのチャンネルの録画映像を、任意の時間範囲で複数の区間に分割し、同時に再生できます。異なる時刻の映像を1つの画面で同時に確認できます。状況を比較したり、時系列を把握したりする場合に便利です。

1 再生の準備をする

→ p.18 「5-1. 再生の準備」

2 再生の種類を [分割再生] にする



3 再生するチャンネルを1つ選ぶ

CH	名前
<input type="radio"/> 1	CAM1
<input checked="" type="radio"/> 2	CAM2

4 [開始時刻] と [終了時刻] を設定し、[検索] をクリック

[終了時刻] に設定できる日時は、[開始時刻] から 24 時間以内です。



検索条件に一致した録画が、分割されて同時に再生されます。

分割数をツールバーで変更できます（選べる項目は、NVRのモデルによって異なります）。



メモ [リソース不足] と表示される（再生できない）ときは

NVRの処理能力を超えていることが原因です。下記のいずれかの方法で解消できます。

- 分割数を減らす
- 画質を [サブストリーム] に変更する

6. 録画データの取り出し(バックアップ)

NVR 内の録画データを、外部機器 (USB メモリなど) に保存できます。

6-1. 通常バックアップ

検索条件に合致した、比較的まとまった時間帯の映像を外部機器に保存できます。

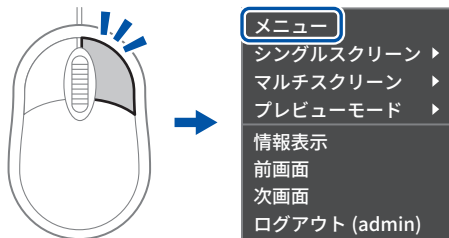
メモ 映像の一部を短く抜き出して、外部機器に保存するには映像をクリップ機能で抜き出した後、[ファイル管理] で保存してください。

→ p.26 「映像の切り抜き (クリップ)」

→ p.28 「ファイル管理」

1 USB メモリを、NVR の USB ポートに差し込む

2 ライブビュー画面で右クリック後、[メニュー] をクリック



3 画面右の [バックアップ] をクリック後、画面左の [通常バックアップ] をクリック



4 対象のチャンネルにチェックをつける

チャンネル

全て

CAM1

CAM2

CAM3

CAM4

CAM5

CAM6

CAM7

CAM8

5 [ストリームタイプ] で、バックアップ時の画質を選ぶ

ストリームタイプ メインストリーム ▼

[メインストリーム] (高画質)、[サブストリーム] (低画質) から選びます。

6 [録画タイプ] で、録画データの種類を選ぶ

録画タイプ すべて ▼

すべて	すべての録画タイプ
常時録画	連続録画
緊急録画	手動録画
イベント	イベント全般 (動体検知、音声アラーム、VCA、スマート分析、アラーム入力)
動体検知	動体検知の録画
音声アラーム	音声トリガーによる録画 (音量レベル超過)
VCA	基本的な AI イベント録画 (エリア侵入検知、境界横断検知など)
スマート分析	高度な AI イベント (顔検出、人数カウントなど)
アラーム入力	外部アラームによる録画

7 [ファイルタイプ]、[開始日時]、[終了日時] を設定する

ファイルタイプ すべて ▼
開始日時 2025-11-18 ▼ 00:00:00 ▲▼
終了日時 2025-11-18 ▼ 23:59:59 ▲▼

ファイルタイプ	[すべて]、[ロック済]、[ロック解除] から選びます。
開始日時 終了日時	<ul style="list-style-type: none">日付：▼をクリックし、カレンダーから選択します。時刻：時 / 分 / 秒のいずれかにカーソルを置き、▲または▼をクリックして設定します。

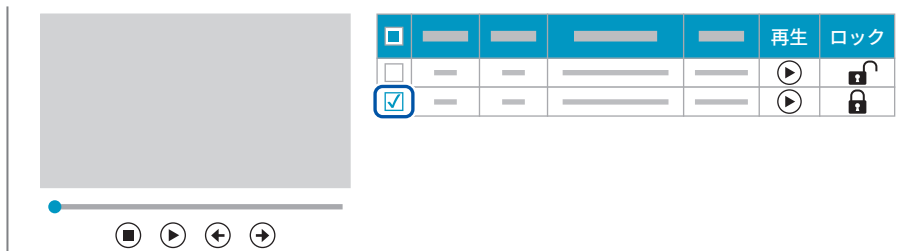
8 [検索] をクリック




終了日時 2025-11-18 ▼ 23:59:59 ▲▼

検索

戻る

9 保存する映像にチェックをつける



- 上書きされたくない映像は、 (ロック解除) をクリックすると  (ロック済) に切り替えられます。
-  をクリックすると、映像を確認できます。
- 映像は、保存時にファイルサイズ (最大で約 1GB) または長さ (最大で約 30 分) に応じて自動で分割されます。

10 [バックアップ] をクリック




11 保存先のフォルダを選ぶ

12 ビデオファイル形式を選ぶ

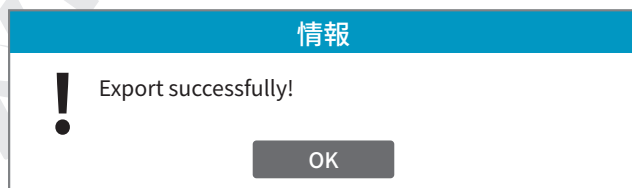
- MP4 : 多くの動画再生ソフトで再生できます。
- AVI : 多くの動画再生ソフトで再生できます。
- PS : 「Player」(S シリーズ専用の動画再生ソフト) のみで再生できます。



13 [エクスポート] をクリック

保存が始まります。進行状況を確認するには、画面上部の  をクリックします。

14 [Export successfully!] と表示されたら、[OK] をクリック



映像が保存されました。

6-2. イベントバックアップ

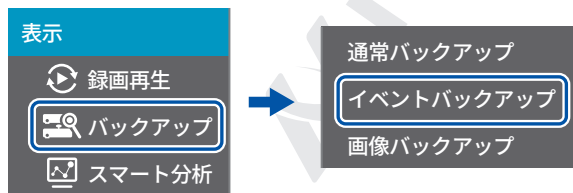
イベントが発生した部分の映像のみを抽出して、外部機器に保存できます。
選択できるイベントは [動体検知]、[音声アラーム]、[アラーム入力]、[VCA]、[スマート分析]
です。

例) イベント [VCA] が発生した部分の映像を保存する

- 1 USB メモリを、NVR の USB ポートに差し込む
- 2 ライブビュー画面で右クリック後、[メニュー] をクリック



- 3 画面右の [バックアップ] をクリック後、画面左の [イベントバックアップ] をクリック



4 [メインカテゴリ] で、イベントの種類を選ぶ

この例では、[VCA] を選びます。

メインカテゴリ	VCA
サブカテゴリ	すべて
検出オブジェクト	すべて

[VCA] を選んだ場合、[サブカテゴリ] と [検出オブジェクト] を設定できます。

サブカテゴリ	[すべて]、[エリア侵入検知]、[エリア離脱検知]、 [高度な動体検知]、[妨害検知]、[境界横断検知]、[徘徊検知]、 [人物検知]、[置き去り/持ち去り検知]
検出オブジェクト	[すべて]、[人間]、[車両]

5 [ストリームタイプ] で、バックアップ時の画質を選ぶ

ストリームタイプ	メインストリーム
----------	----------

[メインストリーム]（高画質）、[サブストリーム]（低画質）から選びます。

6 [開始日時]、[終了日時]、[プリ再生]、[ポスト再生] を設定する

開始日時	2025-11-18	00:00:00
終了日時	2025-11-18	23:59:59
プリ再生	0s	
ポスト再生	10s	

開始日時 終了日時	<ul style="list-style-type: none">日付：▼をクリックし、カレンダーから選択します。時刻：時 / 分 / 秒のいずれかにカーソルを置き、▲または▼をクリックして設定します。
プリ再生	保存時に含める、イベント発生前の映像の秒数
ポスト再生	保存時に含める、イベント発生後の映像の秒数

7 対象のチャンネルにチェックをつける

チャンネル	<input checked="" type="checkbox"/> 全て
	<input checked="" type="checkbox"/> CAM1 <input type="checkbox"/> CAM2 <input type="checkbox"/> CAM3 <input type="checkbox"/> CAM4 <input type="checkbox"/> CAM5 <input type="checkbox"/> CAM6 <input type="checkbox"/> CAM7 <input type="checkbox"/> CAM8

8 [検索] をクリック

チャンネル 全て

CAM1 CAM2 CAM3 CAM4 CAM5 CAM6 CAM7 CAM8

9 保存する映像にチェックをつける



<input type="checkbox"/>					再生
<input type="checkbox"/>					
<input checked="" type="checkbox"/>					

をクリックすると、映像を確認できます。

10 [バックアップ] をクリック

11 保存先のフォルダを選ぶ

12 ビデオファイル形式を選ぶ

- MP4：多くの動画再生ソフトで再生できます。
- AVI：多くの動画再生ソフトで再生できます。
- PS：「Player」（Sシリーズ専用の動画再生ソフト）のみで再生できます。

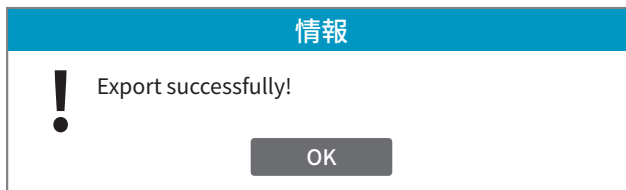
ディレクトリ

ビデオファイル形式

13 [エクスポート] をクリック

保存が始まります。進行状況を確認するには、画面上部の をクリックします。

14 [Export successfully!] と表示されたら、[OK] をクリック



映像が保存されました。

7. 日時の修正

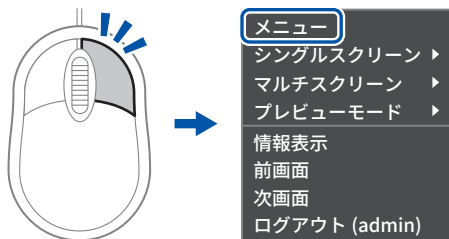
下記の場合、NVR を使い続けると、時刻に誤差が生じます。

- NVR をインターネットに接続していない。
- NVR をインターネットに接続しているが、[NTP 同期] (p.41) を設定していない。

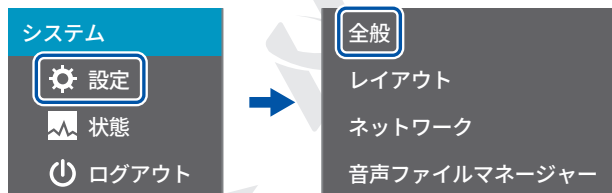
録画データやログの時刻は、NVR の時刻（システム時刻）に連動しています。
上記の場合、システム時刻を定期的に修正することをおすすめします（目安：1 か月に 1 回）。

ここでは、システム時刻を手動で修正する手順を説明します。

1 ライブビュー画面で右クリック後、[メニュー] をクリック



2 画面右の [設定] をクリック後、画面左の [全般] をクリック



3 [日付 & 時刻] をクリック



4 [現在のシステム時刻] の日時を確認する

実際の時刻と異なる場合は、以降の手順にしたがって日時を修正してください。

現在のシステム時刻	2025-12-20 16:00:00
時刻設定	NTP サーバー

5 [時刻設定] で [手動] を選ぶ

日時を設定できるようになります。

現在のシステム時刻	2025-12-20 16:00:00
時刻設定	手動

6 [日時] の、変更する項目にカーソルを置き、▲または▼をクリック

値が変更されます。

日時	2025-12-20 16:00:00
日時	2025-12-20 16:02:00

7 変更が終わったら、[適用] をクリック

変更が確定されます。

日時	2025-12-20 16:02:00
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="戻る"/>	

[現在のシステム時刻] の日時が変更されていることを確認してください。

メモ NTP 同期

- [NTP 同期] とは、インターネット上の時刻サーバーと連携して、システム時刻を自動で調整する機能です。[NTP 同期] を使うには、NVR がインターネットに接続されていて、NTP 関連の設定をする必要があります。
- [NTP 同期] が [有効] の場合、システム時刻は自動調整されるため、手動での時刻設定はできません。

8. 認証 / セキュリティ設定

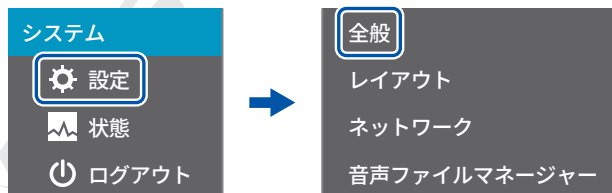
NVR の不正操作や誤操作を防ぐための設定ができます。

起動ウィザード	[有効] にすると、NVR の再起動後に、初期設定ウィザードを表示します。
ローカル認証	[有効] にすると、NVR の再起動後に、NVR システムへのログイン認証をします。
メニュー認証	[有効] にすると、メインメニュー画面に入る際、ログイン認証をします。
メニュータイムアウト	[有効] にすると、メインメニュー画面で一定時間操作がない場合に、メインメニューを自動で終了するまでの時間（30 秒～360 秒）を設定できます。
自動ログアウト	[有効] にすると、一定時間操作がない場合に、自動でログアウトするまでの時間（30 秒～360 秒）を設定できます。
ログアウト時に表示	ログアウト時に、指定したチャンネルのライブ映像を表示できます。チャンネルを指定しない場合は、ログアウト時にライブ映像は表示されません。

1 ライブビュー画面で右クリック後、[メニュー] をクリック



2 画面右の [設定] をクリック後、画面左の [全般] をクリック



3 [デバイス] をクリック

システム設定

全般

デバイス

4 各項目を設定する

ウィザード	開始
起動ウィザード	有効 ▼
ローカル認証	有効 ▼
メニュー認証	無効 ▼
メニュータイムアウト	無効 ▼
自動ログアウト	無効 ▼
ログアウト時に表示	編集
言語	日本語 ▼

適用 戻る

5 [適用] をクリック

設定が反映されます。

9. パスワード/ロック解除パターンの変更

9-1. パスワードの変更

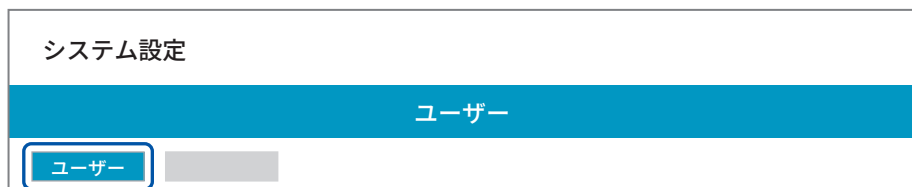
1 ライブビュー画面で右クリック後、[メニュー] をクリック



2 画面右の [設定] をクリック後、画面左の [ユーザー] をクリック



3 [ユーザー] をクリック



4 [ユーザーレベル] が [admin] の行の、 をクリック

No.	ユーザー名	ユーザーレベル	編集	削除
1	admin	admin		-

5 下記の操作をする

The screenshot shows a 'ユーザー編集' (User Edit) dialog box with the following fields and callouts:

- 1 現在のパスワードを入力 (Enter current password)
- 2 [有効] を選ぶ (Select [有効])
- 3 新しいパスワードを入力 (Enter new password)
- 4 再入力 (Re-enter)
- 5 クリック (Click)

ユーザー編集	
Admin パスワード	●●●●●●
ユーザー名	admin
パスワードの変更	有効 ▼
新しいパスワード	●●●●●●
パスワード確認	●●●●●●
ユーザーレベル	admin ▼
ユーザー権限	編集
ロック解除パターン	有効 ▼
ロック解除パターンの設定	編集
OK キャンセル	

6 新しいパスワードをカメラに同期するかどうかを選ぶ

The screenshot shows an '情報' (Information) dialog box with the following text and buttons:

! 新しい管理者パスワードを現在接続されている PoE チャンネルに同期しますか？

はい キャンセル

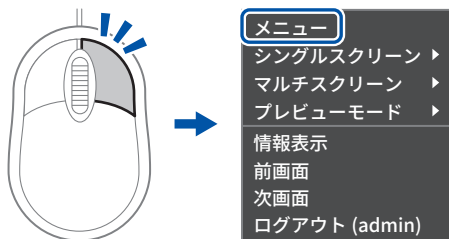
! 注意 新しいパスワードについて

NVR の PoE ポートに直結されたチャンネルのみに反映されます。
PoE/ スイッチングハブ経由のカメラには反映されません。

ログアウトされれば、パスワードの変更は完了です。
新しいパスワードでログインしてください。

9-2. ロック解除パターンの変更

- 1 ライブビュー画面で右クリック後、[メニュー] をクリック



- 2 画面右の [設定] をクリック後、画面左の [ユーザー] をクリック



- 3 [ユーザー] をクリック



- 4 [ユーザーレベル] が [admin] の行の、 をクリック

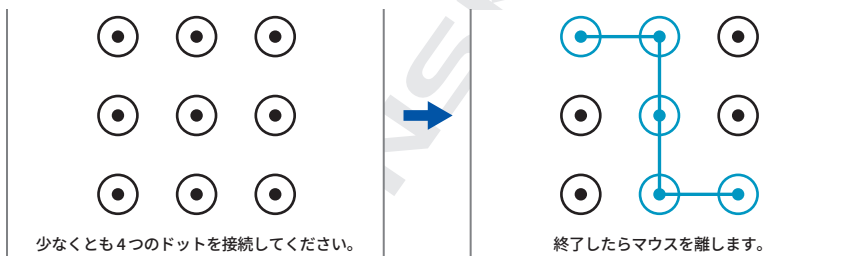
No.	ユーザー名	ユーザーレベル	編集	削除
1	admin	admin		-

5 下記の操作をする

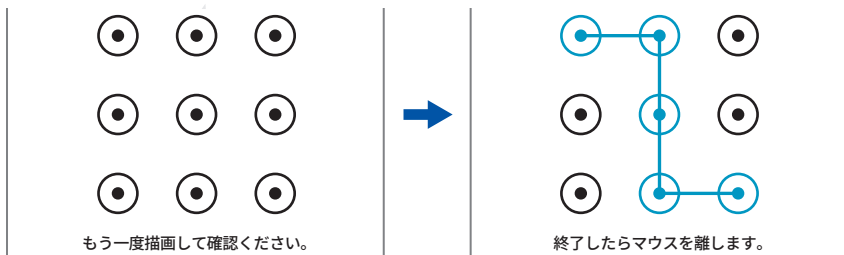
ユーザー編集		
Admin パスワード	●●●●●●●●	① 現在のパスワードを入力
ユーザー名	admin	
パスワードの変更	無効	
新しいパスワード		
パスワード確認		
ユーザーレベル	admin	
ユーザー権限	編集	
ロック解除パターン	有効	② [有効] を選ぶ
ロック解除パターンの設定	編集	③ クリック

OK キャンセル

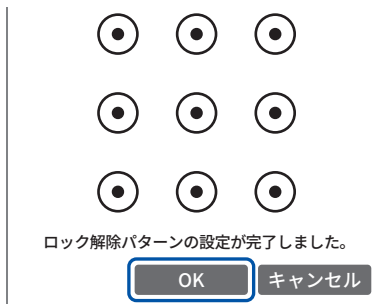
6 新しいロック解除パターンを入力する



7 新しいロック解除パターンを、もう一度入力する



8 [ロック解除パターンの設定が完了しました。] と表示されたら、[OK] をクリック



9 [OK] をクリック



ログアウトされれば、ロック解除パターンの変更は完了です。
新しいロック解除パターンでログインしてください。

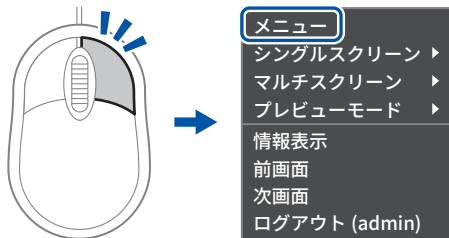
メモ ロック解除パターンを無効にするには

[ユーザー編集] 画面で、[ロック解除パターン] を [無効] に設定し、[OK] をクリックします。

10. ログアウト/再起動/シャットダウン

ログアウト	現在ログインしているアカウントを終了します。
再起動	NVR を再起動します。
シャットダウン	NVR の電源を切ります。

1 ライブビュー画面で、右クリック - [メニュー] をクリック



2 画面右の [ログアウト] をクリック



3 [ログアウト]、[再起動]、[シャットダウン] のいずれかをクリック

4 確認画面で、[はい] をクリック

5 ([シャットダウン] の場合のみ)

NVR の電源を切る旨の画面が表示されたら、NVR の電源スイッチを OFF 側にする

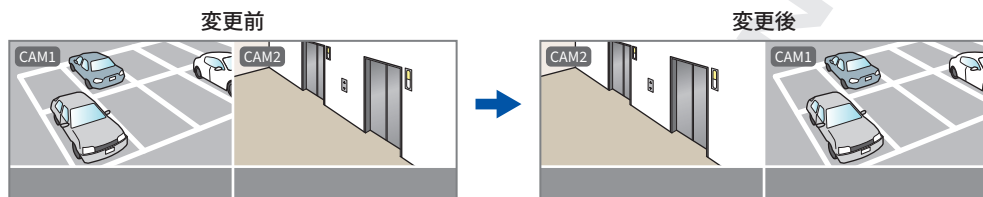
11. チャンネル表示位置の変更

ライブビュー画面の、各チャンネルの表示位置（配置）を変更できます。

例) (4分割画面で)

左上 (ウィンドウ 1) を、チャンネル 1 → チャンネル 2 に変更する。

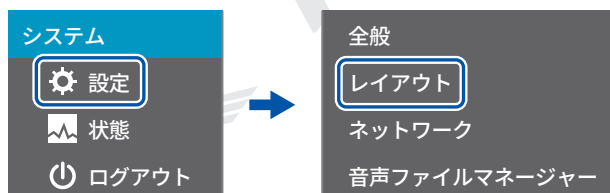
右上 (ウィンドウ 2) を、チャンネル 2 → チャンネル 1 に変更する。



1 ライブビュー画面で、右クリック - [メニュー] をクリック



2 画面右の [設定] をクリック後、画面左の [レイアウト] をクリック



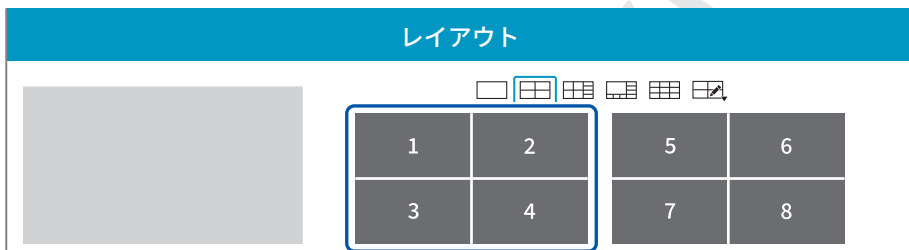
3 変更対象のレイアウトを選ぶ

この例では、4分割をクリックします。



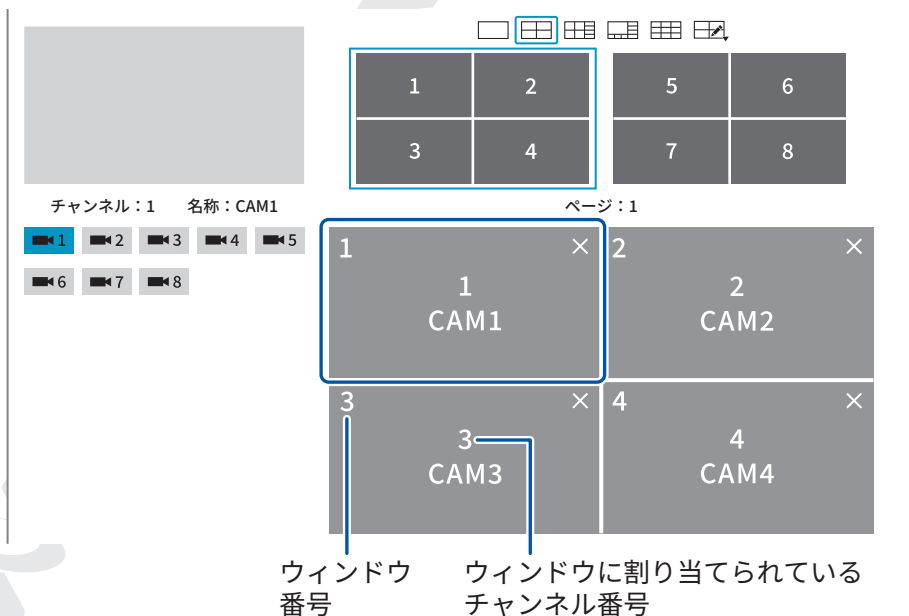
4 変更対象のチャンネルが含まれている、ページを選ぶ

この例では、チャンネル1とチャンネル2が含まれている、ページ1をクリックします。




5 変更対象のウィンドウを選ぶ

この例では、ウィンドウ1をクリックします。



6 「選択中のウィンドウ」に割り当てる、チャンネル番号を選ぶ

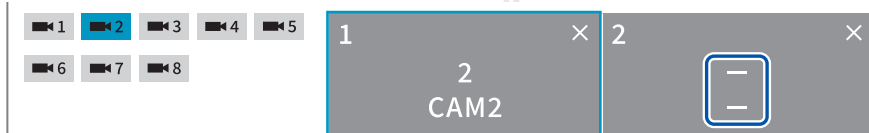
この例では、チャンネル2を割り当てるので、 をクリックします。




ウィンドウ1に、チャンネル2が割り当てられました。



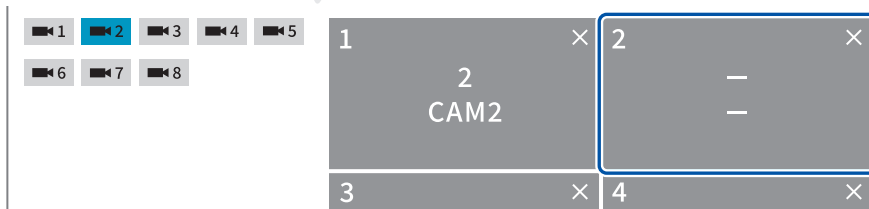
ウィンドウ1にチャンネル2を割り当てたので、ウィンドウ2に割り当てられていたチャンネル2が削除されました。



 **メモ** レイアウトを初期状態に戻すには
画面下部の [リセット] をクリックしてください。

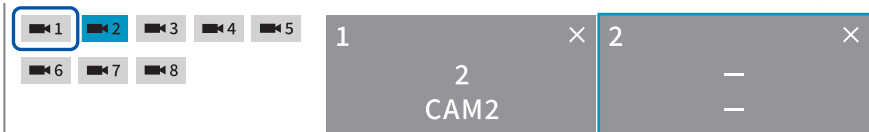
7 変更対象のウィンドウを選ぶ

この例では、ウィンドウ2にチャンネル1を割り当てるので、ウィンドウ2をクリックします。

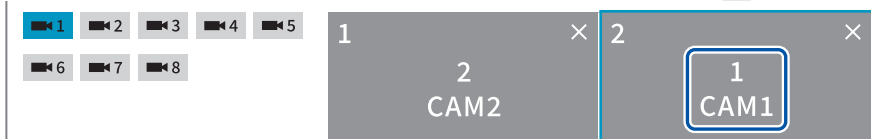


8 「選択中のウィンドウ」に割り当てるチャンネル番号を選ぶ

この例では、チャンネル1を割り当てるので、**1**をクリックします。



ウィンドウ2に、チャンネル1が割り当てられました。

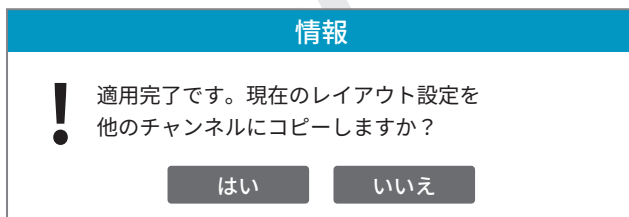


9 変更が終わったら、[適用] をクリック

変更が確定されます。



10 適用した変更を、他のレイアウトにも反映する場合は、[はい] をクリック



メモ チャンネル表示位置を一時的に変更する

ライブビュー画面でマウスをドラッグすると、チャンネル表示位置を一時的に変更できます。ただし、NVRを再起動すると、変更は解除されます。

12. ログの検索

NVR に記録されているログ（履歴）を検索し、閲覧することができます。
検索条件として、日時、チャンネル、ログの種類（メインカテゴリー / サブカテゴリー）を設定します。ログを外部機器（USB メモリなど）に保存することもできます。

[メインカテゴリー] で選べる項目は、下記のとおりです。

項目	説明	補足
すべて	下記のすべてのカテゴリー	—
イベント	カメラや NVR が検知したイベント	例) VCA イベント、外部アラーム入出力
操作	ユーザーによる操作	例) 再起動、シャットダウン、パラメータ設定
情報	システムの通常動作	異常ではない稼働
異常処理	システム異常、エラー	例) HDD エラー、録画失敗、ネットワーク切断
デバッグ	詳細な内部処理	開発者向けの機能です。通常は使用しません。

例) [異常処理] のログを検索する

1 ライブビュー画面で、右クリック - [メニュー] をクリック



2 画面右の [状態] をクリック後、画面左の [ログ] をクリック



3 [開始日時]、[終了日時] を設定する

開始日時	2025-11-18 ▼	00:00:00 ▲▼
終了日時	2025-11-18 ▼	23:59:59 ▲▼
チャンネル	すべて ▼	

- ・日付：▼をクリックし、カレンダーから選択します。
- ・時刻：時/分/秒のいずれかにカーソルを置き、▲または▼をクリックして設定します。

4 [チャンネル] を設定する

開始日時	2025-11-18 ▼	00:00:00 ▲▼
終了日時	2025-11-18 ▼	23:59:59 ▲▼
チャンネル	すべて ▼	

5 [メインカテゴリ]、[サブカテゴリ] を設定する

メインカテゴリ	異常処理 ▼
サブカテゴリ	すべて ▼

6 [検索] をクリック

検索結果が表示されます。

								詳細
-	-	-	-	-	-	-	-	🔍
-	-	-	-	-	-	-	-	🔍

エクスポート **検索** 戻る

ログの詳細を閲覧するには、🔍をクリックします。

ログを外部機器（USB メモリなど）に保存するには、[エクスポート] をクリックします。

13. ステータスの確認

NVR、カメラ、ハードディスクの情報を確認できます。

1 ライブビュー画面で、右クリック - [メニュー] をクリック



2 画面右の [状態] をクリック



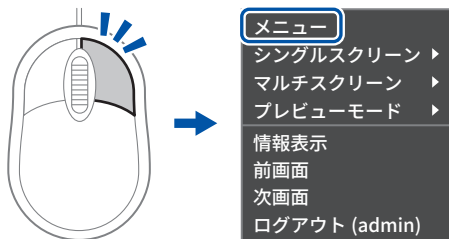
3 画面左の [デバイス情報]、[カメラ状況]、[ディスク状況] のいずれかをクリック

デバイス情報	NVR の下記の情報を確認できます。 <ul style="list-style-type: none">モデル (型番)MAC アドレスSN アドレス (シリアルナンバー)ハードウェアバージョンソフトウェアバージョン (ファームウェアバージョン)稼働時間
カメラ状況	カメラの下記の情報を確認できます。 <ul style="list-style-type: none">チャンネル名称IP アドレス録画設定フレームレートビットレートフレームサイズ (解像度)状態
ディスク状況	ハードディスクの下記の情報を確認できます。 <ul style="list-style-type: none">ポートベンダー状態合計 (総容量)空き (利用可能な容量)プロパティ種類 (HDD タイプ)グループ (HDD グループ)

14. カメラのメンテナンス

14-1. カメラの情報の確認

1 ライブビュー画面で、右クリック - [メニュー] をクリック



2 画面右の [カメラ] をクリック後、画面左の [カメラメンテナンス] をクリック



3 [ローカルアップグレード] をクリック



MAC アドレス、ファームウェアバージョン、モデルなどを確認できます。

						MACアドレス	ファームウェアバージョン	モデル	
<input type="checkbox"/>			✓						-
<input type="checkbox"/>			✓						-

14-2. カメラのファームウェア更新

更新の準備

1 お使いのカメラの、モデル/ファームウェアバージョンを確認する
→ p.57 「14-1. カメラの情報の確認」

2 弊社ホームページにアクセスし、お使いのカメラの製品情報ページを表示する
<https://n-sk.jp/productcategory/sseries>

3 画面をスクロールして、[ダウンロード] – [その他] を表示する
[MSFImage_] または [CQ_] から始まる項目が、最新ファームウェアです。

4 最新ファームウェアの番号を確認する

下記の場合は、ファームウェアを更新可能です。

・「c」から始まる番号がある。

現在	MSFImage_XX.X.X.XX-rX	CQ_XX.X.X.X-rX
最新	MSFImage_XX.X.X.XX-rX- <u>cX</u>	CQ_XX.X.X.X-rX- <u>cX</u>

・「r」の直後の数字が大きい。

現在	MSFImage_XX.X.X.XX- <u>r1</u> -cX	CQ_XX.X.X.X- <u>r1</u> -cX
最新	MSFImage_XX.X.X.XX- <u>r2</u> -cX	CQ_XX.X.X.X- <u>r2</u> -cX

・「c」の直後の数字が大きい。

現在	MSFImage_XX.X.X.XX-rX- <u>c1</u>	CQ_XX.X.X.X-rX- <u>c1</u>
最新	MSFImage_XX.X.X.XX-rX- <u>c2</u>	CQ_XX.X.X.X-rX- <u>c2</u>

5 最新ファームウェアをダウンロードし、USB メモリに保存する

ファームウェアの更新

1 最新ファームウェアを保存した USBメモリを、NVRのUSBポートに差し込む

2 ライブビュー画面で、右クリック - [メニュー] をクリック



3 画面右の [カメラ] をクリック後、画面左の [カメラメンテナンス] をクリック



4 [ローカルアップグレード] をクリック



5 下記の操作をする

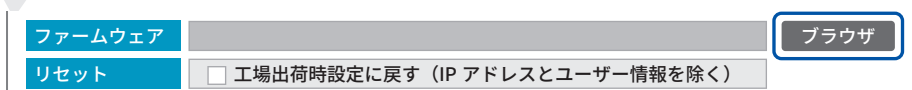
		状態				ファームウェアバージョン	モデル
<input type="checkbox"/>		✓					-
<input checked="" type="checkbox"/>		✓					-

③ ✓をつける

② 対象のカメラが ✓であることを確認

① 対象のカメラを探す

6 [ブラウザ] をクリック



7 保存したファームウェアを選んで、[OK] をクリック

8 [ファームウェア更新] をクリック

<input type="checkbox"/>		状態					ファームウェアバージョン	モデル	
<input type="checkbox"/>		✓							-
<input checked="" type="checkbox"/>		✓							-

9 確認画面で [はい] をクリック

ファームウェアの更新が始まります。カメラが再起動します。

10 [アップグレードの進行状況] が [成功] と表示されるまで待つ

<input type="checkbox"/>									アップグレードの進行状況
<input type="checkbox"/>		✓							-
<input checked="" type="checkbox"/>		✓							アップグレード中

↓

<input type="checkbox"/>									アップグレードの進行状況
<input type="checkbox"/>		✓							-
<input checked="" type="checkbox"/>		✓							成功

11 [更新] をクリック

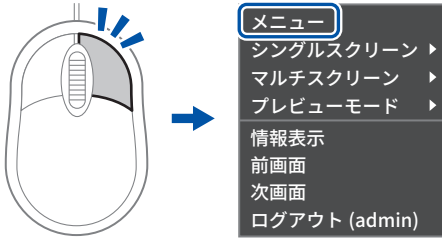
<input type="checkbox"/>									アップグレードの進行状況
<input type="checkbox"/>		✓							-
<input checked="" type="checkbox"/>		✓							成功

12 [ファームウェアバージョン] のバージョン番号が更新されていることを確認する

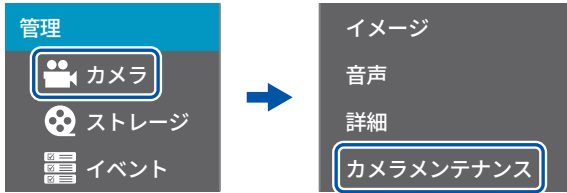
<input type="checkbox"/>							ファームウェアバージョン		アップグレードの進行状況
<input type="checkbox"/>		✓							-
<input checked="" type="checkbox"/>		✓							成功

14-3. カメラの再起動

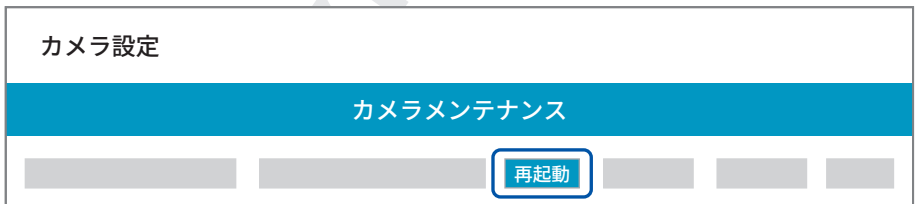
- 1 ライブビュー画面で、右クリック - [メニュー] をクリック



- 2 画面右の [カメラ] をクリック後、画面左の [カメラメンテナンス] をクリック



- 3 [再起動] をクリック



- 4 下記の操作をする

		状態						モデル	
<input type="checkbox"/>		✓						-	
<input checked="" type="checkbox"/>		✓						-	

3 ✓をつける

2 対象のカメラが
✓であることを確認

1 対象のカメラを
探す

5 [再起動] をクリック

<input type="checkbox"/>										再起動の進行状況
<input type="checkbox"/>			✓							-
<input checked="" type="checkbox"/>			✓							-

再起動 更新 戻る

6 確認画面で [はい] をクリック

[再起動の進行状況] に [成功] と表示されれば、カメラの再起動は完了です。

<input type="checkbox"/>										再起動の進行状況
<input type="checkbox"/>			✓							-
<input checked="" type="checkbox"/>			✓							成功

再起動 更新 戻る

14-4. カメラのリセット

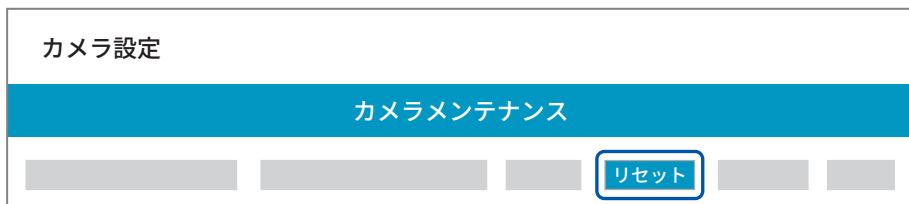
1 ライブビュー画面で、右クリック - [メニュー] をクリック



2 画面右の [カメラ] をクリック後、画面左の [カメラメンテナンス] をクリック



3 [リセット] をクリック



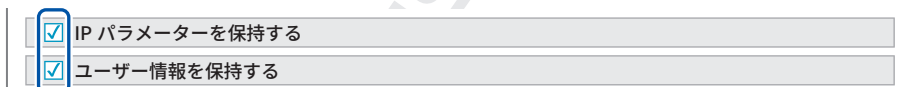
4 下記の操作をする



5 保持したい情報に、チェックをつける

[IP パラメーターを保持する] : リセット後も IP アドレス設定が保持されます。

[ユーザー情報を保持する] : リセット後もユーザー設定が保持されます。



6 [リセット] をクリック



7 確認画面で [はい] をクリック

[進行状況をリセット] に [成功] と表示されれば、カメラのリセットは完了です。



15. NVR のメンテナンス

15-1. NVR のファームウェア更新

更新の準備

- 1 お使いの NVR の、モデル/ファームウェアバージョンを確認する
→ p.56 「13. ステータスの確認」
- 2 弊社ホームページにアクセスし、お使いの NVR の製品情報ページを表示する
<https://n-sk.jp/productcategory/sseries>
- 3 画面をスクロールして、[ダウンロード] - [その他] を表示する
[MSFImage_] から始まる項目が、最新ファームウェアです。
- 4 最新ファームウェアの番号を確認する
下記の場合は、ファームウェアを更新可能です。
 - 「-c」 から始まる番号がある。

現在	MSFImage_XX.X.X.XX-rX
最新	MSFImage_XX.X.X.XX-rX- <u>cX</u>
 - 「r」 の直後の数字が大きい。

現在	MSFImage_XX.X.X.XX-r <u>1</u> -cX
最新	MSFImage_XX.X.X.XX-r <u>2</u> -cX
 - 「c」 の直後の数字が大きい。

現在	MSFImage_XX.X.X.XX-rX- <u>c1</u>
最新	MSFImage_XX.X.X.XX-rX- <u>c2</u>
- 5 最新ファームウェアをダウンロードし、USB メモリに保存する

ファームウェアの更新

1 最新ファームウェアを保存した USBメモリを、NVRのUSB ポートに差し込む

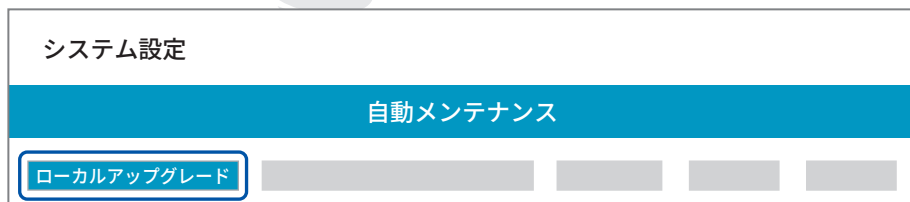
2 ライブビュー画面で、右クリック - [メニュー] をクリック



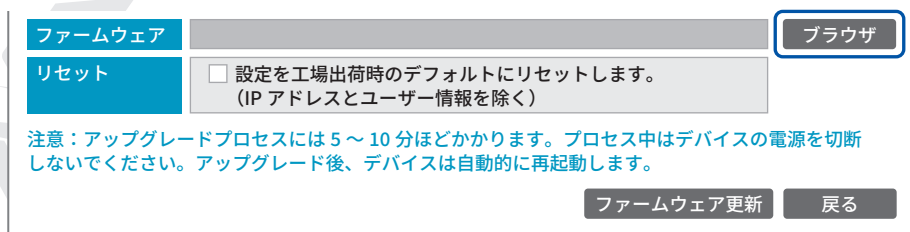
3 画面右の [設定] をクリック後、画面左の [自動メンテナンス] をクリック



4 [ローカルアップグレード] をクリック



5 [ブラウザ] をクリック



6 保存したファームウェアを選んで、[OK] をクリック

7 [ファームウェア更新] をクリック

8 確認画面で [はい] をクリック

ファームウェアの更新が始まります。完了すると、NVR が再起動します。

9 ファームウェアが更新されていることを確認する

ファームウェアのバージョンを、[デバイス情報] 画面の [ソフトウェアバージョン] で確認してください。

→ p.56 「13. ステータスの確認」

15-2. NVR のリセット

1 ライブビュー画面で、右クリック - [メニュー] をクリック



2 画面右の [設定] をクリック後、画面左の [自動メンテナンス] をクリック



3 [リセット] をクリック



4 保持したい情報に、チェックをつける

[IP パラメーターを保持する] : リセット後も IP アドレス設定が保持されます。

[ユーザー情報を保持する] : リセット後もユーザー設定が保持されます。

リセット後に保持するパラメーターを選択してください。

すべてのチェックを外すと、NVR が工場出荷時の状態にリセットされます



5 [リセット] をクリック



確認画面で [はい] をクリックすると、NVR がリセットされ、再起動します。

サポートのご案内

お問い合わせの前に

お問い合わせいただく前に、下記をご活用ください。

■ NSK ホームページ

<https://n-sk.jp/>

最新のマニュアルやファームウェア、仕様書などをダウンロードできます。



■ FAQ（よくあるご質問）

<https://faq.n-sk.jp/>

「よくあるご質問」への回答などを閲覧できます。



お問い合わせ方法

■ メール

<https://n-sk.jp/contact/>

入力いただいたメールアドレスに、回答をお送りします。



■ 電話（コールセンター）

050-5433-8505

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:30（土日祝を除く）

株式会社NSK

〒461-0043 愛知県名古屋市中区大幸 1-10-15